



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員数 466人

コメディカル 338人

医師 128人

管理栄養士派遣登録数 34人

《目次》

『夢の血糖降下薬』 矢田眞理子先生	Page 1
スキルアップセミナー2005報告	Page 2
糖尿病連絡会報告、会員様からのお知らせ	Page 3
年間スケジュール、事務局よりお知らせ	Page 4
電話栄養相談・調理実習のお知らせ	Page 5
第2回西東京糖尿病療養指導研修会のお知らせ	Page 6
(Page 5 と Page 6 は別刷り)	

～『夢の血糖降下薬』～

公立昭和病院薬剤部 矢田眞理子

「『1日1回いつ服用しても大丈夫です。患者さんのご都合に合わせて飲んでください。ただし食事と運動の注意は、治療の基本ですから忘れないでくださいね。』こんなふうに服薬指導ができる血糖降下薬を実現させたいですね。」と、先日仲間の薬剤師と話が盛り上がりました。皆様はどう思われますか？私は全く同感です。

近年、血糖降下薬は作用機序の異なる薬剤が増え、臨床上の選択肢が拡大されました。これは、SU薬のみの時代に比べれば大変喜ばしいのですが、服用の仕方がかなり煩雑になりました。1剤のみの処方ならまだしも保険上でも組み合わせが可能となり、多剤を同じ食事帯に服用する場合も多く見受けられます。医師は患者さんに最も適したと思われる薬剤を処方され、薬剤師は個々の薬剤の特性を踏まえ服薬指導をします。合併症の進展を押さえ、将来のQOLの担保を目指します。

でも患者さんにとって、現在のQOLはどうなのでしょう。食事と薬の服用の縛りに現実の生活の質が損なわれてはいないのでしょうか。

そんなことを考えると、『冒頭の夢？』がよぎります。私も1、2年前から降圧薬を1日1回朝1錠服用するようになりました。実にシンプルな処方内容なのですが、長期服用して薬を飲むことの大変さを初めて実感しました。なぜなら、情けないことに飲んだのか飲まなかったのか？？になることが時々あるのです。

こんな経験を持つ私は、服薬指導の時「食事は3回頂けますか？毎日薬を飲んで頂けますか？飲み残しはありませんか？」等と問いかけるようになりました。長期服用することの大変さも共有しながら継続服用できるように支援しているつもりです。

これからも日常生活を謳歌しながらコンプライアンスを高められるよう応援したいと思います。とはいえ願わくは、『夢の血糖降下薬』の開発を夢んでいます。いつしか夢がかなえられることを願ってやみません。



・ 糖尿病スキルアップセミナー2005(医師向け)の報告 ・

平成17年1月30日 国分寺けやきサロンに於いて開催されました。

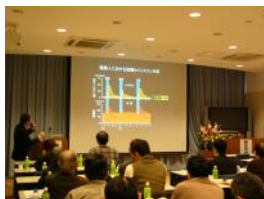
～糖尿病スキルアップセミナー2005を終えて～

立川相互病院 住友 秀孝

去る2005年1月30日国分寺駅ビルにて、糖尿病スキルアップセミナー2005が開催されました。当日は、合計27名の開業の先生方にご参加を頂きました(当日8名の先生が新規入会)。西東京地域においても糖尿病患者さんは激増しています。西東京糖尿病療養指導士を含むco-medical育成と同時に、糖尿病診療に尽力されている開業の先生方と、明日の診療から役に立つ糖尿病診療スキルについて学習する事を主眼におきました。理事長 貴田岡先生より、今回は40才代の若手(?)で構成・実行するよう指示があり、実行委員長 都立府中病院 西田先生のもと、緑成会病院 調先生、片山内科クリニック 片山先生と、立川相互病院 住友が担当させて頂きました。

前半の講演は、伊藤クリニック 伊藤先生に「クリニックにおける糖尿病診療」を自院のデータを交えてお話し頂き、東京医大八王子医療センター植木先生(副理事長)に「糖尿病診療における医療連携」について八王子地区の実績をふまえてお話し頂きました。昼食時には、理事長 貴田岡先生に「NPO法人西東京臨床糖尿病研究会の活動概要と、栄養士派遣事業」等についてお話し頂き、ついで、多摩みなみクリニック運動療養士 小池先生に「クリニックで可能な運動療法の指導」をお話し頂きました。

後半は、住友が「糖尿病治療ガイド2004-2005」について、調先生が、SU剤を中心に「経口血糖降下剤-1」を、ついで片山先生が、BG剤・チアゾリジン誘導体を中心に「経口血糖降下剤-2」をお話しし、その後、各テーブル5名の先生方に分かれ、それぞれのテーブルに糖尿病専門医が1名が入り、用意された糖尿病症例についてsmall group discussion に移りました。約1時間の討論ののち、内容を発表して頂き、終了となりました。当初予定していた通り、かなり時間が超過しました。次回は、もう少しsmall group discussion を長時間とし、より充実をはかる予定です。終了時にお書き頂いたアンケート結果は、基本的に好評でした。スタッフ一同、ほっとしております。



・ 第16回 糖尿病連絡会の報告 ・

平成17年1月27日 公立昭和病院講堂に於いて開催されました。

去る1月27日に公立昭和病院の講堂において第16回糖尿病連絡会が開催されました。当日は医師・コメディカルを含め53名もの方に参加をいただきました。今回は症例検討としてさいわい町診療所 矢澤智子先生に「24時間介護を受けて生活する障害をもつ糖尿病患者の1例」、田中医院 田中和子先生に「仕事が忙しくて診療を受けられない1例」と題して活発なディスカッションが行われました。さらに公立昭和病院 大黒晴美先生より昭和病院の教育入院プログラムについてご紹介いただきました。また、近藤医院 近藤甲斐夫先生より「外来でのインスリン導入について」と題してご講演を賜りました。

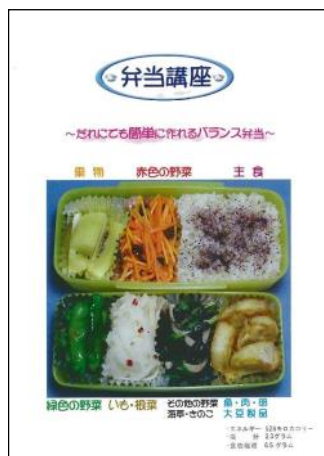
参加者からは「大変参考になりました」「また参加させていただきます」とご好評頂きました。



《会員様からのお知らせ》

『弁当講座』レシピ集 第2弾

高村内科クリニック 管理栄養士 高村香代子



弁当講座第2弾です。前作が好評でしたので、今回も昨年の調理実習をもとに作りました。

メニューも変え、写真も前のものより鮮明に出来上がりました。交換表の分類とは違う分け方ですが、分かりやすく、簡単で作りやすいメニューになっています。又お弁当だけでなく、普段のお料理にも応用できます。

NPOの会員の皆様にもご利用して頂きたいとご紹介いたします。1部100円となっています。ご利用いただける方は高村内科クリニックまでごファックスで連絡ください。

高村内科クリニック FAX: 0425-30-2710

施設名、ご担当者名、部数、住所、電話番号を明記の上FAXでお申し込みください。

※写真は第1弾の表紙です。(B5版 全面カラーの6ページ)





年間スケジュール

第10回 東京都糖尿病協会多摩ブロック糖尿病教室 } 合同開催 第11回 西東京糖尿病患者会連合特別講演会

※事前申込みは不要です。直接会場までお越しください。

日時 : 平成17年 3月 5日 (土) 14:00~16:30
場所 : 小平市民文化会館 「ルネこたいら」中ホール (西武新宿線小平駅南口徒歩3分)
参加費 : 無料

※西東京糖尿病療養指導士認定更新単位 : 1単位

平成16年度 西東京糖尿病療養指導士認定式

※認定試験合格者のみご案内します。

日時 : 平成17年 4月 5日 (火) 19:00~21:00
場所 : 立川アイム (JR立川駅北口徒歩7分)

すべて現時点での情報となりますので、追加変更がありましたら、順次掲載いたします。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 第37回 例会・総会

※事前申込みは不要です。直接会場までお越しください。

日時 : 平成17年 5月 28日 (土)
場所 : 小金井公会堂 (武蔵小金井駅徒歩3分)
参加費 : 会員 : 無料 非会員 : 1,000円

※西東京糖尿病療養指導士認定更新単位 : 申請予定

※日本糖尿病療養指導士認定更新単位 : 申請予定

第2回 西東京糖尿病療養指導研修会 《教育看護系 / 病態栄養系 / 薬剤系》〔詳細6ページ〕

※事前申込みが必要です。事前申込のない当日参加不可。

開催日 : 平成17年 6月 19日 (日)
場所 : 国分寺駅周辺会場
参加費 : 4,000円

※西東京糖尿病療養指導士認定更新単位 : 10単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新単位《一群》 : 申請予定

<事務局よりお知らせ>



『第39回 糖尿病学の進歩』に出席された方へのお知らせ

平成17年 2月 18日 (金)・19日 (土) (仙台国際センター、宮城県スポーツセンター)

に於いて開催された第39回糖尿病学の進歩に出席された方は

※西東京臨床糖尿病療養指導士認定更新の為の単位が3単位取得できます。

お名前、電話番号、認定者番号を明記の上、参加証のコピーを事務局までファックスしてください。

糖尿病学会総会、地方会、糖尿病学の進歩、教育看護学会総会、病態栄養学会総会等に出席すると1回につき西東京臨床糖尿病療養指導士認定更新の為の単位が3単位取得できます。お名前、電話番号、認定者番号を明記の上、参加証のコピーを事務局までファックスしてください。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリントプラザ402 TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net E-mail:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

患者様向け栄養相談・調理実習のお知らせ

NPO法人西東京臨床糖尿病研究会では会員様に向けたサービスの一環として、会員施設の患者様とご家族を対象に下記のように企画いたしました。

電話・ファックス・電子メールでの栄養相談のご案内

普段、食事についての疑問・質問のある方に当研究会の管理栄養士がわかりやすくお答えします。

対 象 : 原則的に会員医療機関の患者様とご家族

- ◇電話での相談時間 : 毎月第1木曜日 午前10時～午後3時
- ◇ファックスでの相談時間 : 毎月15日～月末 午前10時～午後4時
1週間～10日ほどでお返事いたします。
(お名前とご連絡先を必ずご記入ください。)
- ◇電子メールでの相談 : 随時受け付けています。
- ◇初回相談日 : 平成17年3月3日(木)

連絡先 : NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 栄養相談窓口
TEL/FAX : 042-322-7517 (栄養相談専用)
E-mail : eiyououdan@nishitokyo-dm.net

第2回糖尿病食を作って食べて学ぶ会のご案内

当研究会管理栄養士が指導にあたります。当日、質問もお受けできますので、食事について気軽に相談できるよい機会にもなるかと存じます。
(当研究会会報 2004年12月号に第1回の実施報告が掲載されています。)

対 象 : 原則的に会員医療機関の患者様とご家族

- ◇日 程 : 平成17年4月予定 3月2日以降事務局までお問合せ下さい。
- ◇場 所 : 立川市女性総合センター アイム (JR立川駅徒歩3分)
- ◇参加費 : 1,500円

連絡先 : NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局
TEL : 042-322-7468
FAX : 042-322-7478
E-mail : w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

第2回 西東京糖尿病療養指導研修会のお知らせ

開催日 : 平成17年 6月19日(日)

会 場 : 国分寺駅周辺会場

参加費 : 4,000円

※西東京糖尿病療養指導士認定更新単位 : 10単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新単位《一群》 : 申請予定

(プログラム詳細はHPで3月25日頃より、会報では来月号でお知らせいたします。)

<教育看護系> **定員 500名** 時間 : 10:00~(予定)

第一部 糖尿病看護のリスクマネジメント

特別講演 「糖尿病看護のリスクマネジメント」

講師 京都大学医学部附属病院 看護部長 嶋森 好子先生

第二部 楽しくてためになる糖尿病教室

「楽しい! 糖尿病教室のつくり方」

講師 独立行政法人国立病院機構京都医療センター

予防医学研究室長 坂根 直樹先生

他

<病態栄養系> **定員 180名** 時間 : 10:35~(予定)

「薬理・薬効を考えて食べる」~栄養士に必要な薬の知識~

講師 よつ葉薬局代表取締役薬剤師 笠原 徳子先生

「医療従事者としての療養指導士のあり方」

講師 昭和大学藤ヶ丘病院客員教授 出浦 照國先生

~症例から学ぶ療養指導から~

症例提示 昭和大学藤ヶ丘病院管理栄養士 菅野 文丈先生

他

<薬剤系> **定員 130名** 時間: 10:30~(予定)

特別講演 「患者様と共に歩む療養生活」

講師 済生会福岡病院 虎石 顕一先生

他



申込方法 : まずは資料請求をして下さい。

- ・ ホームページで資料請求
- ・ 電話で事務局へ申込用紙を依頼し、必要事項を記入して事務局までファックスまたは郵送

資料請求開始日 : **平成17年3月25日より開始**

資料請求先 : 下記ホームページ又は事務局まで

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リエントプラザ402 TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net E-mail:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp